

第2回 海の森の多様な活用に係るアドバイザー会議 議事要旨

- 1 開催日時 令和4年3月9日（水曜日）15:00 から 16:30 まで
- 2 開催場所 オンライン開催（東京都庁第二本庁舎 208 会議室）
- 3 出席委員等 （委員）一木 広治 委員、いとう まい子 委員、武内 紀子 委員、
野口 健 委員、松尾 哲矢 委員（5名中5名出席）
（オブザーバー）上垣 孝順 一般財団法人公園財団常務理事
松本 達也 東京都港湾局臨海開発部長
（事務局）柏原 弘幸 東京都リビリティ・パビリティ準備局開設準備担当部長

4 会議内容の概要

- (1) 開催挨拶
- (2) これまでの振り返り
- (3) 意見交換
- (4) 閉会挨拶

【主な意見等】（○：委員、●：東京都）

- 音楽・文化等の各種イベント、自然体験型レストラン、番組のロケ等、広い空間で色々な仕掛けを作ってやったら面白いのではないかな。
- 子供達が遊べるような場所、体験型環境学習を出来る場を設けたらどうか。
- 水上競技場は、東京湾を一望できる眺望や充実した施設等を活かしたMICEのパーティー会場、企業ミーティングや研修会場としての利用、合宿誘致等もできるのではないかな。
- 水上スポーツ体験等、初心者がすぐ参加できるプログラムや周辺施設と連携したプログラム等により、競技以外のゼミ、サークル等の合宿にも、より利用されるのではないかな。首都圏以外の利用も見込まれる。
- 施設の形態から団体利用に相応しいと思われ、企業や旅行者等団体利用へのアプローチも良いのではないかな。
- 東京2020大会の会場であったことは訴求力を増すので、アピール方法を工夫した方が良い。
- 海の森公園の成り立ち等から環境を考えるコンテンツで特別感を出せるのではないかな。
- バーベキュー、キャンプ、グランピングでの利用のほか、テント村・アウトドア生活体験の場とすると、震災時に避難所の生活に生きてくるのではないかな。
- 海の森公園に本格的な森、大自然を作るのはどうか。

- 水上スポーツと緑地公園のスポーツが融合する新しいスポーツパークとするのはどうか。
- ボランティアが主体的に海の森エリアを支えられるような仕組みを作った方が良いのではない
か。
- 公園と水上競技場を合わせて、多くの人が一日中いて楽しめるようにした方が良い。
- 水上競技場と公園の運営を融合させることを考える必要があるのではないか。
- 本格的な森を作るのは良いのではないか。
- 自然体験型レストラン等の施設を作ったらどうか。
- 海の森は都民と協働で作りに上げている森であり、頂いた御提案を取り入れつつより良いものへ進
化させたい。水上競技場とも連携し、今後の幅広い活用の可能性を視野に入れて整備を加速さ
せていきたい。
- 本会議について、頂いたアイデアのうち、すぐ活かせるものについては活かしていきたい。